Title	明治十年代の内國貿易(一)
Author(s)	山口,和雄
Citation	北海道大學 經濟學研究, 2, 23-57
Issue Date	1952
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/30982
Туре	bulletin (article)
File Information	2_P23-57.pdf



序

## 明治十年代 0) 內 國 貿易

Ш

口

和

雄

七六五四三 近 四 海畿國陽陰陸

(以上本號)

徳川時代後期から明治初年にかけ、 商品の流通圏が領國的・地方的な範圍をこえて全國的規模にまで擴大するにい

ずしも明らかになつていない。 ては、 すでに多くの史家の指摘せるところである。 もちろん、 すでに、 部分的ではあるが、 しからばその實體如何というに、 若干の統計資料もあげられて一 その 應のことは 細 は 必

きらかであるが、

全國的

調査にもとづく詳細な考察は全くないのである。

ば、 部分が海 からである。 本稿 は明治十年 時 上輸送に依存していたと考えられる。 期になつてはじめて各府縣における主要港 陸上交易の狀態はあきらかでないが、鐵道がほとんど發達していなかつた當時にあつては、 代の調査資料によつてこの種の研究を行うとするものである。 かる點からみて、 轡の輸出入の狀態を全國にわたりあきらかにすることができる 内國貿易の狀態をあきらかにすることは、<br /> なぜ明治十年代をえらんだかといえ 貨物の主要 當時

は青 阪 いづ 派遣され 狀態を詳 五年にかけ公刊された「二府四縣釆覽報文」、 しては、 ところで、 出 ·岩手 入 も開 細に調 商品流 ず從つて報告書も作成されていな 石川 狀態をも 拓使の役人が長官の命をうけて東北、 明 愛媛 東 宫 治十年 海 査の上復命したものであるが、 通の狀態を或程度あきらかにすることとなるのである。 (今の富山 城 (今の香川縣をふくむ) あわせ 褟 代の内國貿易に關する調査資料としてまずあげられるのは、 東 秋 0) 田 調 兩 福井をふくむ) 査し、 地 Ш 形 區 及び九 新潟 それぞれ詳細. 州 。島根 茨城 0) 阎 「東北諸港報告書」、「西南諸港報告書」の三報告書である。これらは 部 Щ 同時にこれらは、 の七縣につき、 北陸、 については、 な統計資料をも報告して (今の鳥取をふくむ) 廣島 西南の主要な港に出 Ш П 北海道との闘 「四南諸港報 福岡 單に北海道物産 長崎 山口の二府四縣につき、 おる。 告書 張し、 係 が比較的 福井の十縣につき夫々調査せるも の輸出入のみでなく、 「二府四縣釆覽報文」は、 各港に は 開拓使によつて明治十二年 大阪 稀薄だつたためか、 おける北海道物産 兵 庫 「東北諸港報 德 島 各港にお 今の 調査員も 京 0) から十 告書 出 ので 川縣 ける 入の

大

が極めて要約された形で、 たが、 が, 載つておるものもあり、 な資料である。 も若干存在したが、 資料で、 統計書であつて、 その一つに各港輸出入調査がある。 ま一つ重要な調査資料は府縣統計書である。いうまでもなく府縣統計書は、帝國統計年鑑の基礎となる各府縣の それ以後はなくなつておる。 早い縣では明治十二三年から、 なお、 各府縣とも明治十二年乃至十五年頃から公刊され、 大多數の府縣が行つておるのであつて、 第二回、 若干の参考となる。 「港灣河岸場出入船舶及物品價額」として載つておる。 第三回、 もつとも、 おそいところでも十五六年から開始され、 第四回帝國統計年鑑 各府縣下の主要港灣につき輸出入額、 この種の調査がすべての府縣で行われたのではなく、 前の開拓使の三報告書とならんで内國貿易に關する貴重 (明治十四年、 その中には 十五年、 輸出入品、 種々貴重な資料がふくまれ 府縣統計書には欠除し、 明治十八九年頃まで調査が繼續し 十六年) 出入船舶などを記し には府縣統計書の 中には行 この方に T わぬ縣 た統計 結 お る

0) 三報告書はもちろん、 實體をあきらかにし、 開拓使の三報告書も明治十年代の各府縣の統計書も今日では容易に入手しがたい貴重な文献資料であるが、 府縣統計書もその大部分を蒐集することができたので、 國內市場の特徴を把握しようとした次第である。 これらによつて明治十年代の内國貿易 幸にも

# 東北

區

# 青森縣

濟學

研究

の 十 東北 港の輸出入額が掲示してある。。まずそれを示すと第一表の如くであつて、 諸港報告書」 中 青森縣の箇所には青森 深浦 鰺ヶ澤 +== 野邊 青森 地 鰺 大凑 ケ澤・ Щ 內 野 邊地 大澗 鮫及湊 鮫及湊の 四港

- 2**5** -

C,		· /
•		いに青森港をみるに、
1.	÷	壽
2.	エモ	24: 24:
70,	種	秫
6	1	港
赵	及	to
<b>淮</b>	7	25
(E)	2	2
0)	G.	4
數	お	E
字	75	•
ż,	0	同
til.		744+ 1HJ
22	_	苍
理	n	で
合	ĥ	は
計	Ó	開
11	お今	2/45
$\mathcal{C}$	指版	7¦⊐
7=	出	-1-
表	入	年
な	喜	Ó
Vi-	为	協会
- 	'd-	448
ΠX,		迎
し	Þ	苗
た	港	74
0	R11	-+-
4	12.0	同港では明治十年の輸出品四十六種
み	-	145
9	不	悝
v、しかも諸港の數字を整理合計した表を作成した。まず輸出品に	一十六種に及んでおる。これらの輸出入高を一々港別に示すことは知	•
出	~	輸入品
	1	X
).— HH	1.4	
<u>~</u>	400	1111

紙幅 九十五 0) 關 種 係 上到

底できぬので、

重要輸出入品につ

まず輸出品についてみると第三表のごとくである。

去 = A

244- 64	明 治	10 年	明 治	11 年	男 治	12 年
港名	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
青森	206,624	116,228	257,065	227,289	453,658	399,8 <b>3</b> 2
深浦	6,262	8,947	10,000	9,143	14,417	11,262
鰺ケ澤	69,614	66,218	101,552	72,028	104,999	131,249
十二三	1,426	841	4,482	1,699	31 <b>,3</b> 83	3,518
野邊地	82,118	103,810	75,442	104,413	132,646	172,542
大 湊	5,638	617	2,919	1,227	6,090	3,405
川內	?	?	?	?	7,870	8,036
大 澗	?	?	?	?	2,914	5,624
∫ 鮫····································	78,346	63,264	209,755	240,785	211,569	598,7 <b>5</b> 8
大畑	?	?	?	?	15,505	20,942
合 計	450,028	409,925	661,215	656,584	931,051	1,355,168

(明治十三年刊) 227-420 備考 開拓使編「東北諸港報告書| 頁により作成

て大過ないかと思われる。

### 明治16年青森縣輸出入額表(第2表)

港 灣 河 岸	輸出額	輸入額
青 森 港	307,165	359,071
鮫 港	270,211	352,099
鰺 ケ 澤 港	106,625	34,449
其他十三ケ所	151,689	83,924
合 計	835,690	829,543

日本帝國第四統計年鑑262 備考 263頁

K

詳細な輸出入物品表

を掲げておる。

これ

0)

物資が商品として輸

をみると、すでに各種

十二年には輸出品五 出 ゎ か 入されていたことが 一十七種、 るのであつて、 輸入品 試 百

が 、「東北諸港報告書 次に輸出 入品であ る

に明治十六年度青森縣輸出入額として次のごとく記してあ 額を以て直ちに青森縣の港灣河岸からの輸出 が主要輸出入港であつたことが みなすことができるかゞ問題で るところからみると(第二表) あるが わかる。 まず全輸出入額とみなし な 第四統計年鑑 お、 |入額の全部 表記 0) 合計 ٤

は表記の十港につき

青森縣輸出品表 (第3表)

na	名	明治	10 年	明 治	11 年	明 治	12 年
;	*	67,734石	224,963	57,289石	281,835	39 <b>,23</b> 9石	278,012
大	豆	20,189石	61,530	29,162石	101,589	18,256石	74,356
味	噲	199,952實	20,422	207,974貫	21,920	375,674貫	57,760
無	粕	8本 1,690貫 3,430石 26,709俵	37,346	2,440貫 3,100石 34,521俵	72,865	11,865貫 3,930石 8,688俵	122,538
干	鱏	5,018束 3,660貫 1,782俵	3,134	4,051束 2,000貫 72個	1,151	90,203束 1,800貫 5個	66,179
切、	昆布	565箇	1,985	27,197箇	19,986	10,049束	9,771
m	海鼠	12,980斤	4,594	17,523斤	7,040	37队 18,930本 2,700斤	17,002
	莚	23,489束	5,752	52,125束	13,442	155,301束	61,736
藁	繩	94,727丸	2,761	52,828丸	3,211	104,544丸	12,268
1	漆	169樽	5,823	437橑	19,200	453樽	38,665
1	飴	6,262實	1,191	22,083實	5,636	34,760貫	11,484
材	木	?	4,365	?	5,577	?	24,892
共	他	_	76,162		107,763		206 <b>,3</b> 88
合	āt		45),028		661,215		981,051

備考 「東北諸港報告書」227-420頁により作成

第4表

品名	生產高	輸出高	百分比
米	538,552石	54,954石	10.2
大 豆	39,852石	22,536石	56.5

- 備考 1) 生産高は第二統計年鑑による明治 14年の數字。それ以前の數字は國 別となつておるので,明治14年の數 字を採用した。
  - 2) 輸出高は前掲第3表の明治10,11,12年三ケ年の一ケ年平均値である。

つてみると北海道向けの米輸出高は六 いたのであつて、 割をしめておる。 で、この三品で全輸出額の七 んど大部分が北海道に向け輸出されて 十一年)乃至五割近く なかんづく米は全體の五割乃至三 試みに明 かも輸出米の (十二年)を占 治十年をと 重 要輸 十年 ほ 出

青森縣輸入品表(第5表)

品名	明治 10	) 华	明治 11	1、年	明 治	12 年
木綿 吳服	192,165反	99,765	282,770反	193,729	536,555反	413,860
古手	1,560箇 (1箇=40枚)	25,834	2,812箇	52,446	3,501箇	102,536
仲繼	2,446簡 (1簡=10貫)	18,902	3,512簡	29,402	5,306簡	48,057
綿	?	24,534	?	25,034	?	54,686
綿糸	?	4,154	?	7,261	?	10,231
西洋 吳服	1,618反\ 47箇∫	5,586	5,682反\ 284箇∫	29,272	2,963反\ 535箇	64,247
洋糸	39貫 \ 67箇 ſ	1,827	78箇	5,257	207箇	20,200
DH.	82,212俵 (1俵=12貫入)	24,640	65,732俵	29,107	65,776俵	45,562
砂糖	白 40,372斤 玉 249,096 // 黑 204箱 焚込 300斤	16,939	白 56,263斤 玉 188,994斤 黑 994個 焚込 4,200斤	29,851	白 183,795斤 玉 422,426斤 黑 2,676箇 焚込22,400斤	85,536
身欠 鰊	13,737本 (1本=24把入)	31,207	12,419本	24,838	18,689本	44,974
鹽鮭	94,923本	15,912	141,890本	23,514	147,058本	31,121
鹽鱒	205,176本	11,134	158,229本	9,414	181,178本	13,642
派	半紙 1,644簡 (1億=6貫) 中保紙 804簡 (1億=4貫) (1億=1万校) (1億=1万校) 渡紙 15本 美濃紙 120束	22,664	平紙 1,265 簡 中保紙 951 簡 中切紙 105 簡 半週紙 70 束 仙過紙 30 束	19,845	半紙 2,717簡 中學紙 680簡 中學紙 182簡 遊紙 20本 美濃紙 66束 仙過紙 20束	.32,833
煙草	國分 107箱 阿波粉1292箱 刻貫 216箱	9,170	國分 268箱 ) 阿波粉1037箱 } 刻莨 252箱 }	9,583	國分 153箱 阿波粉 553箱 煙草 2336箱 刻莨 593箱	24,516
其他		97,657		168,026		363,167
合計		409,925		656,584		1,355,168

備考 「東北諸港報告書」227-420頁により作成す。

萬六千石余に達し、全體の九割以上に及んでおる。

くである。 次に、これらの輸出品の中生産高が明らかとなる米及び大豆について生産高と輸出高との比率をみると第四表の如

米及び大豆は陸路によつても縣の內外に販賣されたのであるから、商品化の分量は表記より多かつたわけであるが

それにしても、右は商品化の最低度を示すものと言えよう。

次に輸入品を整理してみると第五表のごとくなる。

%(十年)乃至五二%(十一年、十二年)を、北海道水産物(身欠鰊・鹽鮭・鹽鱒)の輸入額は一四%(十年)乃至 び鹽・砂糖であつた。衣類關係品(木綿吳服・古手・伸繼・綿・綿糸・西洋吳服・洋糸)の輸入額は全輸入額の四四 六%(十二年)を、鹽輸入額は六%(十年)乃至三%(十二年)を、砂糖は四%(十年)乃至六%(十二年)をしめ 主要輸入品は綿織物・古着類・綿・西洋吳服等の衣類關係品を筆頭に、身欠鰊・鹽鮭・鹽鱒などの北海道水 產物 及

ておる。衣類闊係品の中國內品の輸入先は大阪を中心とする上方方面であつたろうし、鹽は瀨戶內海沿岸から、 は讃岐或は西南地方から輸入されたものと考えられる。 なお、 明治十九年 「青森縣統計書」には十七年以降の青森・鮫兩港の輸出入品が掲載されておるが (一一九丁--一 砂糖

二〇丁)、これをみても主要輸入品は右と殆んど同様であつたことが知られる。

### **4** 手 縣

岩手縣としては「東北諸港報告書」には宮古、 山田、釜石三港の輸出入額が掲示されておる。まずそれを示すと第

經濟學研究二

六表のごとくである。

岩手縣港別輸出入表 (第6表)

港	名	明 治	10 年	明 治	11 年	明 治	12 年
他	ব্য	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
宮	古	րյ ?	?	т 299,555	л 168,278	33),701	л 212,744
T[]	田	4,283	10,653	9,729	15,537	13,427	18,657
釜	石	?	?	133,366	36,592	,	46,248
合	ät	?	?	442,650	220,407	500,116	277,679

備考 「東北諸港報告書」425-448頁により作成。

明治15年岩手縣輸出入表 (第7表)

大に輸出入品であるが、まず「東北諸港報告書」により宮古・山田・釜石三家大家の宮古・釜石・山田三港の貿易額と第七表の宮古・釜石・山田三港の貿易額と第七表の輸出入額は第六表のそれに比しの數字がない。また釜石港をみると、第七表の輸出入額は第六表のそれに比しの數字がない。また釜石港をみると、第七表の輸出入額は第六表のそれに比しの數字がない。また釜石港をみると、第七表の輸出入額は第六表のそれに比した。第六表においては各灣及び各河岸場の輸出入額が欠除し、第七表では宮古港入額を第七表のごとく記しておる。
---

港	津	名:	輸出額	輸入額
釜	石	港	15,760	350
111	田	港	31,892	623
唐	舟	润	8,346	1,339
赤	崻	渺	4,769	-
甫	嶺	173	100	1,125
未	崻	澍	5,200	1,200
新	山河	岸	84,999	164,472
(ia)	木 河	岸	6,148	540
更	木 河	岸	538	67
Щ	前河	岸	3,024	291
黑	翠 尻 河	岸	137,239	130,113
下	可原河	岸	11,150	4,815
跡!	马井河	岸	14,612	1,567
作	ノ瀬河	岸	4,284	6,275
狐声	單寺河	岸	9,559	226,497
薄	衣 河	岸	1,060	19,481
合		計	338,680	558,755

備考 「明治15年岩手縣統計書」171 丁に よる。

岩手縣輸出品表 (第8表)

經濟學研究

an an	名	明 治	11 年	明 治	12 年
	鮪	28,120本) 120石)	圓   99,486	21,644本) 150石)	86,994
鮪	透身	39,900個 { 3,400俵 { (1俵=10貫) (1個幾貫か不詳)	62,570	41,459個\ 3,520俵∫	77,530
鮪	片前	7,510個 (1個=10費)	9,012	7,320個	10,980
鮪	節	1,950個 (1個=8貫)	6,825	2,010個	7,638
干	鯣	7,735俵 (1俵=10貫)	74,254	7,229俵	75,082
鰯	粕	22,900俵 (1俵=15貫)	53,890	22,351俵	64,330
干	鮑	243,905斤	47,685	246,900斤	55,776
鮭	鹽引	3,043石	28,244	4,090石	42,170
昆	布	4,090石	12,270	5,052石	17,682
鰹	節	1,892個 (1個=10貫)	10,644	2,010個	7,638
其	他		37,770		47,013
合	計		442,650		500,116

備考 「東北諸港報告書」425-448頁により作成す。

### 明治15年岩手縣輸出品表(第9表)

·	品	名	數	盘	價	額
	÷,	k	27,9	986石	167,	110圓
- Average design	形	銅	4,	437本	37,	723
	鰹	節	5,	141個	25,	375
ĺ	Ŧ	鯣	1,	789個	20,	576
-	漆	汁	:	234個	21,	150
	其	他			66,	746
-	合	計			338,	680

備考 「明治十五年岩手縣統計書」 171-175丁により作成す。

品はほとんど全部水産物で、殊に鮪及 品はほとんど全部水産物で、殊に鮪及 で紡製品は全輸出額の四割内外を占め で新製品は全輸出額の四割内外を占め であり、その外では干鯣(一五%乃至 一七%)、鰯粕(二二%)、干鮑(一一 が、「明治十五年巖手縣統計書」によ が、「明治十五年巖手縣統計書」によ り各港灣河岸場の輸出品を整理合計し り各港灣河岸場の輸出品を整理合計し でみると第九表の如くになる。

これによれば、

○%內外)、古手(一四% 乃至 一八%)が多く、

衣類關係品外では洋酒の輸入が特に多かつた。

縣の主要輸出品は米・鮪・干鯣・魚粕・干鮑・鰹節・形鍋・漆汁等であつたと言える。 主に河岸場から輸出され、 鮪及び鮪製品・魚粕・干鮑などは主に宮古港から輸出されていたのである。 從つて、岩手

米が全生産高に對しどの程度輸出されたかを 明治十五年に ついてみると 次の ごとくであ

これらの輸出品のうち、

のあるのは、第八表が灣・河岸場の輸出高を欠き、第九表が宮古港の數字を欠いておるがためで、米・形銅・漆汁は

米が最大の輸出品で四九%を占め、形銅、漆汁も重要な輸出品であつた。右兩表にこのような差異

岩	手縣	<b>渝入品表(</b> 氧	第10表)		•
EI EII	名	明治	11 年	明治	12 年
吳服	木綿	798個) 800反∫	回 67,695	896個) 1,000反∫	77,950
古	手	851個) 1,600枚	33,942	951個l 1,200枚/	38,223
Á	<b>\</b>	179箇	8,303	263箇	12,624
絲	B	108箇	2,207	250箇	5,425
衣	類	50箇	1,965	93箇	3,616
唐木	、綿.	15箇	1,160	35箇	2,789
蒲	團	221 箇	5,538	350箇	9,520
洋	酒	294個	36,661	320箇	42,374
莽	Ę.	77箇) 450斤∫	10,224	89箇) 500斤)	12,007
砂	糖	786箇) 293樽∫	5,498	1,140箇 \ 385樟∫	8,553
小間	引,物	190箇	5,757	218箇	7,630
其	他		41,457		56,968
合	計		220,407		277,679
備考	£ [:	東北諸港報告	告書」425-	448頁によ	り作成
	す。	,			
・衣類・唐	は衣	右表によ	港報告書一次に輸入	(備考	生生
) 木 結			の品が	) 七 九	

二三九、七九六石 二七、九八六石 八%二 百分比

高

出

高

(備考) 「明治十五年岩手縣統計書

による。

報告書」の數字を整理してみると第一〇表 次に輸入品であるが、これもまず「東北諸

%内外をしめる。なかんづく、吳服木綿 衣類• 品は衣類關係品 右表によれば、 唐木綿・蒲團)で、全輸入高の五五 岩手縣においても最大の輸 (吳服木綿・古手・糸・綿  $\subseteq$ 

明	治1	5年末	当手縣!	輸入品	表(第	11表)
nn n		名	數	量	價	格
木		綿	7	4 <b>3</b> 9個	13	9,745
古		手	2,	552個	13	8,333
綿		類	1,	182個	31	0,900
唐	糸	類		358個	1	1,990
小	間	物	1,	237個	3	5,974
砂		糖	12,	230個	3:	3,056
石		油	6,	148個	2	6,661
	紙			600個	1	4,950
	鹽		18,	205俵	1:	2,417
	蠟			391個	,	9,742
其		他	Color		13	8,043
合		計			55	8,755

175-179頁により作成す。

が六割近くを占め、 輸入品は第一一

「明治十五年巖手縣統計書」によつて算出

表の如くで、これによつても衣類關係品 なかんづく木綿・古手で五割近くを

# しめておる。

城

石濱三港の輸出入額が掲示されている。まずそれを表示

東北諸港報告書」には宮城縣としては石卷、

寒風澤、

石濱は輸入港であつた。

すると第一二表のごとくで、

石卷は輸出

港

寒風澤、

É 備考

「明治十五年宮城縣統計書」には明治十一年以降十五年に至る各港輸出入額が示されているので、

相

この兩表によつて當時における宮城縣下港別輸出入の狀態は 一應明らかであり、 青森・岩手兩縣に比し輸出入が

次に輸出入品であるが、まず輸出品をみる。 最初に「東北諸港報告書」により石卷・寒風澤 • 石濱三港の輸出

當活潑であつたことが知られ

年乃至十三年の分をみると次掲第一三表の如くである。

整理合算し、これをかりに宮城縣の輸出品高として示すと第一四表の如くである。

の商品がふくまれるので、こゝでもすでに多くのものが輸出されていたことがわかる。 これによれば、宮城縣においても、 これにつぐのは大豆 (五%乃至一○%)及び銅(九%乃至七%)などであつた。「其他」の中には約三十種ばか 米が最大の輸出品で、 全輸出額の七六%(十一年)乃至六三%(十二年) なお、 明治十五年宮城縣 を占

その中十

П

### 宮城縣港別輸出入表A (第12表)

港		名	輸出	治額	11	年入	額	輸	明出	治額	12 輸	年入	額
石		卷	1,4	02,659		34	1,004		1,07	1,133		57	7,987
寒	風	纆	1	78,515		1,92	3,473		26	8,671		2,06	5,059
石		濱	1	35,515		55	4,830		13-	4,899		89	4,997
合		計	1,7	16,689		2,81	9,307		1,47	4,703		3,53	8,043

備考 寒風澤,石濱は松島灣浦戸村にある。「東北諸港報告書」453—484頁に より作成す。

### 宮城縣港別輸出入表B (第13表)

Stt:	港名		明	冶	11	年		明	治	12	年			月	治	13	华	
他	- 73 	輸	出	額	輸	人:	額	輸出	額		入	Married To Print		出	額	輸	入	額
石	卷	1,4	445,	742	!	59,3	317	1,052	,643	5	511,	710	1,2	99,	660		91,	615
野	蒜		52,	788			-	34	,322				(	55,	854			
寒	風澤	1 2	205,	270	2,0	39,3	304	269	,925	2,0	)06,	870	4	41,	574	$\epsilon$	41,	700
潜	ケ浦												3	19,	164	1,2	15,	283
石	濱		38,	800	55	58,8	331	131	,571	8	389,	897	6	55,	828	5	17,	967
売	濱		57,	021		7,1	72	164	,279	1	22,	812	6	55,	105		20,	240
氣 1	山 沼		15,	017	]	13,3	315	22	,070		60,	050	. 2	24,	035		26,	065
合	計	1,8	313,	846	2,67	77,9	939	1,674	,810	3,5	91,	<b>3</b> 39	1,88	31,	220	2,5	12,	870

備考 一とあるのが質際に輸出入額がなかつたのか,不明なのか必ずしも明らかでない。「明治十五年宮城縣統計書」上卷172—173頁による。

### 宮城縣輸出品表A (第14表)

nn	名	明 治	11 年	明 治	12 年
	*	288,0027	1,316,304	160,791石	927,685
大	豆	18,642年	85,205	29,369	160,499
	銅	20,049億 (1億=7貫500匁)		13,738箇	104,711
石	盤	5,199箇	18,065	4,630箇	37,490
魚	粕	2,958億	6,853	7,882箇	22,738
鰹	節	4,832億	20,938	3,141箇	20,294
昆	布	4,090石	12,270	5,052石	17,682
海	苔	418售	10,164	480箇	16,390
其	他		84,900		167,214
合	計		1,716,689		1,474,703

備考. 「東北諸港報告書」453-484頁により作成す。

### 宮城縣輸出品表B (第15表)

		明	治	11	年	明	治	12	年	······································	1 治	13	牟
品	名	數	量	價	格	數	量	價	額	數	量	價	額
3	K	318,21	4石	1,4	157,678	153,	251石		991 ,030	150,	602石	1,2	2 <b>34,</b> 095
大	豆	36,58	5石	1	42,808	39,	399石		196,805	28,	007石	1	148,881
û	同	20,04	6箇	1	62,092	12,	504箇		96,077	24,	385箇	1	144,908
其	他				51,268				390,898		T PROTECTION OF THE PROTECTION	5	353,336
合	計			1,8	313,846			1,	674,810			1,8	381,220

備考 「明治十五年宮城縣統計書」上卷174-182頁により作成す。

### 第16表

ĺ	F7 44	明	治 11	年	明 生産高	治 12	年.	明	治 13	年
-	前名	生產高	輸出高	百分比	生產高	輸出高	百分比	生產高	輸出高	百分比
	米	568,798	318,214	55.9	646,272	153,251	23.7	768,220	150,602	19.6
	大豆	83,076	36,583	44.0	92,716	39,399	42.5	118,667	28,007	23.6

備考 「明治十五年宮城縣統計書|上卷57頁及び174-182頁による。

### 宮城縣輸入品表A (第17表)

				~~~~							
ffi	名	眀	治	11	年		明	治	12	年	
吳服太	499	26,26	55箇	1,2	53,631	h	41 0	20%	1.0	ne 0	F9 OO
古	手	6,77	77 //	' 1	87,691	Ĵ	41,9	フフ国	1,9	25,8	90
繰	綿	20,09	90 //	3	41,740		17,8	72 //	3	17,7	74
唐糸金	th:	$5,2^{2}$	17 //	1	55, <b>5</b> 88	3	1,4	34 //		77,8	36
小間	物	10,42	24 11	2	76,280		12,76	53 //	3	24,2	05
砂	糖	31,10	)7 //	1	81,926	5	31,70	03 //	2	34,5	41
鹽		63,47	70 //		24,982	2	33,42	27 //		14,9	65
石	油	25,52	27 //		91,146	5	30,5	27 //		78,9	04
瀬戸	物	11,35	57 //		41,262	2	15,90	00 //		64,5	82
鐵金	物	11,39	91 //	•	75,441		17,50	66 <i>n</i>	i	10,3	01
生	蠟	3,3	55 //		37,435	,	3,9	42 <i>n</i>		46,8	82
菜種	及   酒	3,98	35 /		36,474		8,5	58 <i>n</i>		97,3	27
紙	111	39	94 //		18,695		1,4	34 #		77,8	36
其	他				97,016	5			2	11,7	66
合	計			2,8	19,307		,	The state of the s	3,5	38,0	43

備考 「東北諸港報告書」453-484頁により作成す。

ちなみに、米及び大豆の輸出高が生産高に對しどの程度のであつた。

につぐのは大豆(八%乃至一一%)及び銅(九%乃至五%)みるように、最大の輸出品は米(六〇%乃至八〇%)で、これ統計書」により各港の輸出品を合計してみても、第一五表に

宮城縣輸入品表B (第18表)

	品名		明	治	11	年	明	治	12	年	明	治	13	年
nh		73	數	量	價	額	数	量	價	格	數	量	價	額
吳	服プ	、物	28,	231箇	1,2	53,580	45,9	926箇	1,7	62,911	<b>3</b> 6,8	25箇	1,0	37,682
古		手	5,0	066 //	2	88,701	6,9	978 //		43,187	3,6	27 //	1	79,590
	綿		19,8	395 //	3	15,821	26,8	333 //	4	32,850	8,2	70 //	2	37,148
唐		糸	2,0	071 //		66,778	2,	311 //		93,084	1,5	62 //		23,564
和洋	羊小十	間物	10,	319 //	2	86,638	17,	744 //	3	20,469	10,6	11 /	3	25,796
砂		糖	28,4	418 //	1	67,037	38,	711 //	2	58,991	24,9	97 //	2	18,433
	鹽		25,2	230 //		9,685	15,0	656石		29,007	13,9	58石		26,318
石		油	15,	192 //		62,275	26,8	358 //		75,964	22,7	77箇		53,662
陶		部	8,	355 //		27,753	13,6	653箇		43,782	18,1	11 //		65,733
鐵	物	類	9,4	189 //		66,436	20,9	966 #	1	20,522	11,2	63 //		58,765
生		蠟	2,	313 //		29,421	3,	590 //		41,498	1,3	93 /		18,269
菜		種	2,0	514 //		32,352	6,	432 //		91,516	3,4	21 //		85,401
	紙		1,2	260 #		12,915	1,0	070 //		26,958	1,1	98 //		15,992
其		他				58,547			2	50,630			1	66,517
合		計			2,6	77,939			3,5	91,339			2,5	12,870

備考 「明治十五年宮城縣統計書」182-189頁により作成す。

品で、 化の 様の事情がみられ L (六%)、 %を占めている。その外では小間物(九%)、 占める。 と第一七表のごとくである。 十八種に及んでおる。それらを整理 えば石卷港についてみると明治十一年にお みると、 三%)などが主な輸入品であつた。 してみて 繰綿 五年宮城縣統計書」により各港の輸入品を合 表記のごとく宮城縣にもお 次に輸入品。 合を占めていたかをみると前掲第一六表の 程度の高かつたことを示している。 その これだけで全輸入額の六七%乃至六九%を 、こゝでも輸入品 石油(二%乃至三%)、 中でも吳服太物は最大の輸入品で、 唐糸金巾などの衣類關係品が最大の輸入 は前二縣に比し相當高率であ 第一八表にみるように、右とほど まず「東北諸港報告書」につ る。 の種類は相當多く、 いて吳服太物 鐵金物 (二%乃 なお、 合算してみる 古 いて五 明治 砂 刀 たと 如 算 至 糖 70 T

知ることができぬ旨が 災があつて資料燒失し いてみる。 欠いておる。 され、能代港については調査員出 ら十二年に至る土 の年に たが か が ておる。次は「鰰鰯干鰕」であるが、こ こムに 秋 生産高に對しどの 五%内外を占めるにすぎな 種乃至十九種であるが 田 九表の・ 縣 秋田縣統計書」 おい おい 7 まず輸出に は 如 從つてこ」では土崎港のみに 北諸 ても全輸 ても最大の輸出品は米 土 くで 崎 港報告書」には あ 港 程度の 出額の る ついてみると輸 はこの種の調 たためその輸 0) 報告さ 輸 兩 出 港 割合を占め 八〇%以 それを整理 入 が れて 10 額 重 明治十 0) 要な港で 張の年に で、 米 査を全 おる。 Z 出 0) n 上 出 が た する 額 年 輸 揭 は を 出 わ 0 ま を 火

秋

 $\blacksquare$ 

### 秋田縣土崎港輸出表(第19表)

H	名	明治	10 年	明 淘	11 年	明 治	12 年
-	长	136,000石	383,150	149,000石	484,330	127,000右	688,090
大	豆	6,400石	16,704	5,400石	16,470	5,500石	27,500
小	豆	2,450石	9,800	2,800石	10,080	2,150石	9,675
鰤· 鰾	·千鰕	47万貫	20,210	54万貫	34,560	40万貫	40,000
Ž	西	14,000樽	10,724	16,000樟	13,280	12,000樽	18,000
酒	粕	10万貨	2,800	12万貫	4,080	10万貫	5,250
油	粕	14万貫	5,740	14万貫	8,400	12万貫	12,000
其	他		30,416		20,214		28,490
合	計		479,544		630,414		829,005

備考 「東北諸港報告書」187-201頁により作成す。

### 第20表

秋田縣米生產高	土 崻 港 米 輸 出 高	百分比
835,168石	137,333石	16.4

生産高は第二統計年鑑による明治14年の數字,それ以前は國別生産高であるので採用できない。

輸出高は前掲第19表の明治10,11,12年の平均値。

をみると第二○表の如くであ

右の輸出高は土崎港のみである

能代港その他を加えた秋田

縣全體における米輸出高の生産高

に對する比率はおそらく三割

程

どの北海道水産物 至一〇%)、 に及び、全輸出額の三〇%乃至四 その額二十二萬圓乃至二十四萬圓 ごとくである。 (九%乃至一八%)、 ○%を占める。これにつぐのは鹽 に及んだのではないか と思わ 伸繼・木綿等の衣類關係品で、 最大の輸入品はやは 次に輸入品をみると第二一 蠟及び蠟燭 身欠・鹽鮭・鹽鱒な (六% 乃至一〇 (九%乃至一三 砂糖 り綿。古手 (八%乃 表の n

### 秋田縣土崎港輸入表 (第21表)

554	名	明 治	10 年	明 治	11 年	明 治	12 年
. ;	綿	?	97,974	?	97,326	?	97,464
古	手	2,000個 (30枚入)	52,000	2,000個	60,000	1,800個	54,000
伸	繼	19,000個 (10貫入)	80,000	8,000個	65,600	8,000個	72,000
木	絹	430個 (60反入)	10,230	340個	10,200	540個	16,200
!		140,000俵 (5斗入)	49,000	126,000俵	47,250	156,000俵	140,400
砂	糖	?	44,348	?	53,236	?	67,392
身	欠 鰊	11,900丸 (24把入)	<b>27,37</b> 0	6,720丸	15,321	8,070丸	25,178
鮭•	鹽引	131,500本	17,390	223,000本	40,360	295,500本	43,684
PA.	鱒	?	4,779	?	6,340	?	9,917
蠟。	蠟燭	?	<b>3</b> 6,900	?	53,672	?	76,200
石	油	11,000箱 (2斗入)	35,300	í. "I	33,48)	13,000箱	29,900
7	紙	?	30,201	?	27,513	?	34,000
疊	表	9,300丸 (10枚入)	9,875	′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′	12,520	· · ·	14,600
	鐵	?	10,630	?	13,512	?	11,240
梨	子	6,000箱 (10貫入)	6,600	6,400箱	8,000	7,400箱	11,848
其	他	100000	39,269		53,919	-	60,250
合	計		552,926	CHARLES AND A	538,249	Tan Manoona	764,274

備考 「東北諸港報告書 | 187-201頁により作成す。

%)、石油(六%乃至四%)、紙(五%乃至四%)などであつた。

とができると思う。 以上は土崎一港の狀態であるが、 同港は秋田縣の重要港であるので、右を以てしても秋田縣輸出入の大勢を知るこ

入額一、四二二、四〇九圓、 「第二統計年鑑」によれば、明治十三年における秋田縣各港河岸場の總輸出額一、八一四、八七五圓、 主要輸出品米・大豆・杉板、 主要輸入品鹽・砂糖 繰綿であつた (二〇二頁) 總輸

# 山形縣

第二二表の如くである。 「東北諸港報告書」には山形縣としては酒田港のみの數字が示されておる。それでまず同港の輸出からみると次掲

産高に對しどのくらいの比率をしめるかをみると第二三表の如くである。 あるが、これは一四%(十一年)乃至九%(十二年)をしめるにすぎない。 すなわち、最大の輸出品はやはり米で、全輸出額の八二%(十一年)乃至八九%(十二年)を占める。次いで酒で また、これらの輸出品が山形縣全體の生

13 この輸出高は酒田一港であるので、 その他の港灣からの輸出高を考慮すると、 右の比率は更に大であつたとみてよ

治十二年をとり各輸出品についてこの關係をみると第二四表の如くである。 酒 田 港は北海道との關係が特に深く 輸出においても輸 出額の四 割近くが北海道に向けられておる。こころみに明

次に輸入をみると第二五表の如くである。

これによれば、 酒田港における最大の輸入品は北海道水産物 (身欠鰊・生鰊・鮭鹽引・鱒鹽引・ 筋子・數ノ子・干

經濟學研究二

П

cz 鮃

はり六三%を占める。

そ

Ō

額明治十

年には二三〇、

六三〇圓

に及び、

全輸

入額の六三%を、

### 山形縣酒田港輸出品表 (第22表)

Fia	名	明 治	11 年	明 治	12 年
* *	K	119,372石 494,62		108,391石	650,482
'n	酒 14,127 //		84,765	6,353 //	50,824
大	豆	5,456 //	14,025	5,330 //	22,506
小	豆	1,923 //	5,295	1,852 //	8,336
醬	油	170 //	1,360	183 //	1,830
合	計		600,074		733,978

「東北諸港報告書」171-178頁により作成す。 備考

### 第23表

品名	山形縣生產高	山形縣酒田港 輸 出 高	百分比
米	755,332石	113,882石	15.1
大 豆	68,941 //	5,393 #	7.1
酒	94,134 //	10,240 //	10.8

生産高はいづれも第二統計年鑑による明治14年の數字。 輸出高は前掲第22表の11年12年の一ヶ年平均値。

### 明治12年山形縣酒田港輸出高表(第24表)

, Fig.	名	全 輸 出 高	北海道向輸出高	百分比
>	*	108,391石	39,413石	36.4
į i	酉	6,353石	5,883石	92.6
大	豆	5,330石	480石	9.0
小	豆	1,852石	385石	20.8
醬	油	183石	180石	100.0

「東北諸港報告書」169-171頁により作成す。 備考

た。

態で 詩 六 表にみるように、 酒 以 あるが、 田港は山形縣下各 1 は 酒 田 次の第二 港 0) 狀

これらの水産物のうちでは身欠鰊及び鹽引鮭が最も重要なものであつた。 十二年には二八九・〇一九圓 重要な 繰綿 二一七圓で一二%を、 蠟が三%を占め比較 を、砂糖が四%内外 ておる。その外では鹽 十二年には一〇〇、五 明治十一年には四二、 衣類關係品で、 九〇圓で二二%を占 水産物につぐのは 〇% 乃至 ·木綿·古手等 輸入品で その額 的 % 0)

港輸出入高の八割をしめていたのであるから、

以上を以て山形縣全體を推しても大過ないと考える。

### 山形縣酒田港輸入表 (第25表)

ᇤ	名	明 治	11 年	明 治	12 年
		45,232石	36,185	53,220石	50,559
砂	糖	219,169斤	17,438	231,020斤	20,926
	蠟	14,406貫	12,057	18,250賞	16,425
. 木	綿	11,917反	8,342	18,600反	14,880
繰	綿	21,562賞	28,030	32,060實	78,090
古	手	5,430賞	5,845	6,350實	7,620
半	紙	3,055 🗸	4,178	5,050×	7,575
	鐵	20,020箇	4,410	15,600賞	3,432
腳	器	3,942箇	3,059	4,380貫	6,570
身	欠 鰊	45,599箇 (1箇=20束)	86,524	50,339箇	100,678
生	鰊	831,100本	20,777	530,100本	10,680
鮭	鹽 引	447,850本	53,742	501,30)本	65,168
鰤	鹽引	498,880本	9,977	458,310本	9,624
筋	子	3,223億 (9買入)	9,027	3,783樽	10,731
數	ノ子	57,654貫	16,143	50,098實	14,779
干	鮃	36,56)實	14,624	35,050貫	14,721
其	他		19,522		19,516
合	計		349,880		451,964

### 明治13年山形縣港別輸出入表 (第26表)

港	名	輸出額	主要輸出品	輸入高	主要輸入品
酒田	港	1 ,267 ,614	米,酒	671,777	鹽,繰綿,鯡類
賀 茂	港	241,822	米,酒,油	136,025	鹽,砂糖,繰綿
其 . 二 ケ	他所	4,247		2,108	. —
合	計	1,513,683		839,910	

備考 第二表統計年鑑 202頁による。

潟縣下諸港の輸出入額は第二九表のごとくであつた。 出雲崎・寺泊の五港が主要港であつた。まずその輸出入額 載しておる。それによれば、 をみると第二八表の如くである。 また 東北諸港報告書」 「第四統計年鑑」によれば、 は新潟縣諸港の輸出入についても記 新潟を筆頭に直江津・ 明治十六年におけ 柏 崎

新

潟

縣

北

陸

區

ができる程度である。 表のごとくである。

福島縣についてはこれによつて輸出入の大略を知ること

縣の輸出入額が記されておるのでそれを表示すると第二七

及び「第四統計年鑑」には明治十三年及び十六年の同

の輸出入額については全然記載がない。

たゞ「第二統計年

東北諸港報告書」にも「福島縣統計書」にも福島縣下

 $\Box$ 

福

島

縣

福島縣輸出入表 (第27表)

ろ 新

	Ŋ	月 治	13	年	Ŋ	月 治	16	年
港名	輸出額	主 要輸出品	輸入額	主 要輸入品	輸出額	主 要輸出品	輸入額	主 要輸入品
阿武隈河 岸	[47,441	太物,煙草,粉蒟蒻	[A] 260,337	砂糖,大 豆,藍	97,550	刻煙草, 太物	218,927	鹽,砂糖, 大豆,石 油,肥料
津 川河 岸	81,660	粉蒟蒻, 苧,漆器	163,007	鹽, 太物 砂糖				
梁川河岸					5,879	太物	106,613	米
其他二 十九ケ 所	333,676		378,071					
共他十 二ヶ所					118,795		333,644	
合 計	562,777		801,415		222,224		659,184	

「第二統計年鑑」201頁, 「第四統計年鑑」262頁により作成す。 備考

新潟縣港別輸出入表 (第28表)

\db	明 治	1) 年	明治	11 年	明 治	12 年
港名	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
新 潟	662,690		四 1,501,536	2,139,301	2,556,331	2,564,03
直江津	424,618	429,195	493,246	458,001	484,692	452,78
柏崎	216,339	107,510	212,280	169,652	236,405	203,37
出雲崎	?	?	?	?	555,827	366,74
寺 泊	?	?	37,668	56,837	66,792	79,25
計	1,203,647	1,246,822	2,244,730	2,823,791	3,90),047	3,666,20

備考 「東北諸港報告書」18-123頁により作成す。

### 明治16年新潟縣輸出入表 (第29表)

港	名	輸	出	額	輸	入	額
新	 潟 港		2,0	11,161		2,1	41,21 <sup>m</sup>
柏	崎 港		1	04,422			41,642
其 他	11 ヶ 所		1	75,635	Account Contract Cont	5	55,027
合	計		2,2	91,218		2,7	37,886

備考 「第四統計年鑑」259頁により作成す。

### 新潟縣輸出品表 (第30表)

品名	明 治	10 年	朋 治	11 年	明 治	12 年
米	654,634俵	956,753	715,906俵	1,787,623	1,080,904俵	2,645,247
麥	6,121俵	10,908	10,213俵	18,299	9,053俵	18,041
大豆	44,931俵	69,920	25,853俵	49,298	27,808俵	77,751
小豆	15,591俵	25,585	14,254俵	25,952	3,823俵	7,971
麻苧	1,213箇	22,924	1,376簡	27,343	9,995箇	305,321
縮布	35,136反	106,813	38,8 <b>3</b> 4反	125,819	36,985反	131,811
煙草	3,218箇	24,504	2,611箇	16,443	1,984箇	17,031
酒類	酒 3),091樽 燒酎17,124箇		酒 28,050 燒酎13,221 箇		酒 92,952樽 燒酎42,935箇	
石油	16,090箱	28,980	13,976箱	30,045	21,949箱	69,365
其他		32,923		136,529		600,101
合計		1,303,647		2,244,73)		3,90),047

備考 「東北諸港報告書」18-123頁により作成す。

Ш

第31表

新潟縣米生產高	新渴縣米輸出高	百 分 比
1,396,018右	464,789石	34.8

備考 生産高は第二統計鑑による明治14年の數字。 輸出高は第30表掲載明治12年 の數字を1 俵4斗3升入として換算したもの。

新潟縣輸入品表 (第32表)

nn		名	明	治	10	.年	明	治	11	年	岄	治	12	年
木反	物	綿類	1,15	54箇	4	何 45,853		85箇 17反		<u>    </u> 85,129		.072		165,671
	綿		12,20	)9本	14	47,758	439,19	96本	1,9	926,456	22	,836本		184,353
古		手	1,99	99個	Ć	51,924	2,2	25個		70,203	2	105個	į.	66,307
金		rh					28	82個		34,985	1,	374個		204,867
唐		糸					1,3	17個	1	38,650	3,	073個		528,447
	鮭		470,9	15本	. (	56,686	600,6	43本		71,464	1,648,	880本		346,600
199		鱒	396,78	38.本	j	18,260	831,38	36本		41,205	1,219,	274本	ŀ	97,291
身	欠	鯟	36,08	39箇	6	63,975	40,7	18簡		72,152	126,	555箇		327,443
	翮		414,3	13俵	16	66,667	268,09	94俵	1	41,104	369,	330俵		295,674
砂		糖			14	13,216			1	68,491				338,336
	蠟		11,74	18政	8	33,178	9,2	3以	1	41,862	8,	206政		136,947
	紙			ĺ	2	47,109				38,561		40		61,000
	鐵				5	38,505				63,190				19,490
金	物	類	2 0-			36,815				90,429				146,401
蓙		類	3,93 132,91	39箇 10枚		27,143	8,00	58箇		24,933	9,	413箇	1	31,383
材手	木挽	類物	·			7,136				33,191				39,34)
其		他		THE PERSON NAMED IN	24	12,597			5	79,061				676,650
合		āt			1,24	16,822	,		2,8	23,791			3,	666,200

備考 鮭については明治十年及び十一年に夫々表記以外に 900,000本が輸入されているが代價不詳である。

鹽鱒についても表記以外に明治十年600,000本,十一年450,000本が輸入されているが代價不詳である。

身欠鰊については表記の外に明治十年40,000箇, 十一年47,000箇が輸入され, 代價不詳である。

「東北諸港報告書」18頁-123頁により作成す。

體のそれとみなして品目別に輸出品を整理合算してみると前掲第三○表のごとくである。 次に輸出入品であるが、 まず輸出品についてみる。 「東北諸港報告書」 掲載の新潟港以下 五港の輸出高を新潟縣全

輸出品であつた。 これにつぐのは麻苧及び縮布 屈指の米作地新潟縣に なお、 最大の輸出品米が全生産高に對しどの程度の比率を占めていたかをみると第三一 おいては、 (麻)でこの兩者で七%乃至一〇%程度を、 最大の輸出品はいうまでもなく米で、 その他としては大豆・石油 全輸出額の七〇%乃至八〇%を占めて ・酒等が主要な 表の如う おる

次にやはり 「東北 諸港報告書」によつて輸入品を整理してみると第三二表の如くである。

ある。

圓余で全輸入額の一二%を、 係品では綿・木綿反物類が重要なものであるが、 二五%を、 占めておる。 るにいたつたことも注目に値する。 最大の輸入品は木綿反物類・綿・古手・金巾・唐糸などの衣類關係品で、十年には二十五萬五千余圓で全輸入額の 「明治十六年新潟縣統計書」には同年の新潟港及び直江津港の輸出入額が掲載されているが、これによつても 十一年には百六十五萬四千圓余で五八%を、十二年には百十四萬九千圓余で三一%を占めておる。 その外では鹽が五%乃至一三%を、 十一年には十八萬四千八百圓余で七%を、 北海道水產物 明治十一年、十二年へと唐糸・金巾など外國品が擴大的に輸入され 砂糖が六%乃至一一%を占めて注目すべき輸入品であつた。 (鮭・鱒・身欠鰊)の輸入も相當巨額で、 十二年には七十七萬一千三百圓余で二一%を 十年には 十四萬八千九百 衣類關

### 富 Щ 縣

なお

「出入品は右とほとんど同様であつた(二―四頁)。

Щ 縣 は 明 治十六年五月に設置され、 それ以前は石川縣に屬していたが、こゝでは便宜上越中國を最初 から富山

經濟學研究二

П

表」によれば、越中國氷見・放生また、「明治十三年石川縣統計

明治11年富山縣港別輸出入表 (第33表)

港	名	輸出額	輸入額
滑	Л	227,500	217,055
魚	津	161,040	132,130
東岩	当 瀬	325,050	49,525
伏	木	1,455,626	1,517,503
合	計	2,169,216	1,916,213

備考 「二府四縣采覽報文」 93頁—130 頁により作成す。 伏木港の地位が壓倒的であつた。 大木四港の明治十一年における輸 供木四港の明治十一年における輸 供木四港の明治十一年における輸 大木四港の明治十一年における輸 は入額が掲載されておる。まずそ れをみると第三三表のごとくで、

明治11年富山縣輸出入品表 (第34表)

輸		出			輸			入	
品名	数 量	價 格	111 1111		名	數	量	價	格
米	<b>3</b> 23,500石	1,412,200	胴		鰊	2,64	2,080實	451	,474
木綿・反物	478,000反	290,900	笹	目	鰊	55	8,000貫	81	,801
藥	9,980個	299,000	鰊	×	粕	36	4,840貫	28	3,167
管 笠	1,440,000蓋	102,000	身	欠	鰊		80,800實	15	,660
木地類院膳類		50,000			計	1		577	 ',102
鐵物	3,500箇	35,000	\J.		рı 	ļ			,102
其 他		80,116		綿		32	26,760貫	440	,300
			洋		糸		950個	142	,500
	i		砂		糖		,740挺) ,230樟/	113	,100
				蠟			3,360貫	59	,300
				盬		/1俵	32,800俵 4斗4升) は5斗入)	47	,850
			小	間	物		810個	40	,500
			石		油		2,670凾	40	,100
				炭		25	3,500俵	25	,300
	1			鐵		(1束	8,070束 =12貫)	25	,600
			懸		繼		1,610個	24	,000
			陶		器		6,820個	- 20	,440
			其		他			374	,121
合 計		2,169,214	合		計			1,916	,213

備考 「二府四縣采覽報文」93頁-130頁により作成す。

・伏木・水橋・東岩瀬 ・魚津六港の合計輸出額四、八八三、五九二圓、 合計輸入額四、四五〇、三九五圓である

合算し、これをかりに富山縣輸出入品表として示すと第三四表のごとくである。表記のように、 伏木港では輸出品四十九種、 次に輸出入品についてみるとやはり各種の物品が輸出入されておる。「二府四縣釆覽報文」によると、 輸入品九十三種に達する。つぎに「釆覽報文」により伏木港以下四港の輸出入品 最大の輸出品 たる

ほゞ匹敵し、全體の二三%を占めておる。 ているが 主要輸入品は北海道からの鰊製品と綿とであつた。鰊製品の輸入額は合計五十七萬圓余、全輸入額の三〇%を占め 鹽 (二%五) 等であつた。 一中でも胴鰊の輸入最も多く、 全輸入額の二四%に當つておる。 その他の輸入品の中で比較的重要なのは洋糸(七%)、砂糖 綿は輸入額四十四萬圓余で、 (六%)、 胴鰊のそれに

全輸出額の六五%を占めておる。これにつぐのは藥(一四%)、木綿反物(九%)、管笠(五%)などであつた。

みると、 なお、 輸出品六十六種、 「明治十三年石川縣統計表」によつて越中國氷見・放生津・伏木・水橋 輸入品七十二種の多きに達する。それを整理すると第三五表のごとくである。 東岩瀬 ・魚津の六港の輸出

の三三%をしめる。中でも胴鰊が最も重要であつた。これにつぐのは綿(一二%)、昆布(七%)、材木(六%)、 どであつた。輸入品では最大のものはやはり北海道からの鰊製品で、その純輸入額一、○八四、六三八圓に達し、全體 **斷)、これにつぐのは管笠(一二%)、金物(七%)、薬(六%)、吳服及び木綿反物** すなわちこれによつても、最大の輸出品は米で、全輸出額の六四%をしめ (五%)、炭 (四%)、綿糸 (四%)、砂糖 (三%) などであつた。 (%は純輸出額について算出 (六%)、 莚及び 茣蓙 (四%) な 以下同 陶

最後に、最大の輸出品たる米の輸出高が生産高に對しどの程度の比率をしめていたかをみると、 明治十年の越

研究二

明治13年富山縣輸出入品表 (第35表)

in in	名	輸	出	輸	入		差	引
	*	321,414	2,418,929		圓	+	石 321,414	-2,418,929
	鹽	15,504	24,769	58,638	86,213		43,134	- 61,444
砂	糖	84,420	28,630	挺 9,291	134,323		?	- 105,69 <b>3</b>
吳	服	個 4,261 個	415,470	2,516	251,543	+	個 1,745 個	+ 163,927
木糸	帛反物	3,483	77,262		-	+	3,483	+ 77,262
綿	糸	126	2,520	1,391	132,542	_	1,263	- 130,022
	綿	7,500	195,000	31,303	605,651		23,803	- 410,651
胴	鰊	59,100	16,548	石目 83,635	869,870		?	- 853,322
笹	目鰊	192,000	84,480	石目 26,067	204,704		?	- 120,224
鰊	× 粕	102,000	34,200	石目 5,341	60,818		?	- 26,618
身	欠鰊	1,200	280	石目 2,862	84,754		?	- 84,474
昆	布	個 5,555	27,775	55,793	283,004		51,238	- 255,229
	藥	11,538	403,830	個 5,457	160,860	+	6,081	+ 242,970
	莚	1,500,116	62,962			+	1,500,116	+ 62,962
吳	座	64,873	. 96,107	来 893	1,331	+	63,976	+ 94,776
菅	笠	37,361	448,332	~		+	本 37,361	+ 448,332
材	木	石目 360	375	石目 604,488	229,018	_	石目 604,128	- 228,643
金	物	個 8, <b>67</b> 1	256,710	1,955	16,169	+	6,716	+ 254,755
胸	器	1,376	48,160	13,025	213,302		個 11,649	- 165,142
	炭	3,010	1,505	365,070	143,758		倭 362,060	- 142,253
石	油	和 40	120	13,600	46,750		13,560	- 46,630
共	他		239,628		925,785			- 686,157
合	計		4,883,592		4,450,395			+3,763,913 -3,316,502

備考 「明治十三年石川縣統計表」111頁-133頁により作成す。

%に當る。また、明治十三年の越中國米生產高は 一、○六五、三三三石であるので(明治十三年農產表)、輸出高三二 の米生産高は 八三一、四四四石であるので(明治十年全國農産表)、輸出高三二三、五〇〇石(明治十一年)は約三七

# 石川縣

一、四一四石は三〇%にあたる。

試みにこの明治十年七尾港の數字を明治十一年同港の數字と比較すると總額において次のごとき差異がある。 課で作成したものであるが、「釆覧報文」も指摘しておるように、 載されており、その外、明治十年の七尾港輸出入額も掲げてある。 「二府四縣釆覽報文」には現在の石川縣に屬する港として七尾・輪島・福浦・羽昨四港の明治十年の輸出入額が掲 ところで、明治十年の數字は各港とも石川縣勸業 「粗漏の調査」で、脫漏が相當多いようである。

輸入

高

明治十年

一年

八〇二、五一三

一二四、四八七圓

六五一、八〇〇

備考 兩年度とも再輸出額をふくむ。

「二府四縣采覽報文」二二三―二二六頁、一六六―一七二頁による。

從つて明治十年度の統計は七尾港のみならずその他の諸港についてもせいぜい参考程度にしかならぬと思われる。

輸入一、八四五、九五○圓である(一一一頁─一三○頁)。また明治十四、十五、十六年「石川縣統計表」によれば、 飯田・宇出津・七尾の十一巻があげられ、その合計輸出入額が示されておるが、それによると輸出八三八、五五二圓、 「明治十三年石川縣統計表」には加賀、能登兩國の港として、鹽谷・安宅・美川・金石・川尻・福浦・富木・輪島

經濟學研究二

石川縣港別輸出入表(第36表)

244		明	治	14 年	£	明	治	15	4£	明	治	16	年
港	名	輸出	額	輸入	額	輸出	額	輸	入額	輸出	額	輸	入額
安	宅	33	。 ,046	208	[4] ,286	26	圓 ,310	1	54,57		,728	9	回 96,037
金	石	108	,512	526	,417	209	,138	8	78,49	3 259	,459	54	14,642
七	屋	732	,367	509	,115	327	,140	9	36,34	0 118	,676	1 !	50,192
輪	島	47	,927	44	,259	527	,140		30,47	5 182	,583	4	47,458
合	計	921	,852	1,283	,077	1,039	,728	1,3	199,88	1 618	3,446	8.	38 <b>,32</b> 9

明治十四年、明治十五年、明治十六年、各石川縣統計表によつて作成す。

蠟(五%○)、

綿(四%六)、吳服(四%四)などであつた。

る。 安宅·金石·七尾·輪島四 欠鰊などの鰊製品(一八%二)、材木(八%八)、 全純輸入額の二○%八を占める。これにつぐのは胴鰊・笹目鰊・鰊粕 出額に對するもの)。 つぎに純輸入品についてみるに 最大のものは米で、 薬(一二%一)、清酒(一〇%〇)、莚(八%二)などである(%は全純 粹の輸出品は比較的すくなかつた。主要な純輸出品をみると、干魚・鹽 賀・能登十三ヶ港の まず 生魚などの魚類(三四%二)、漆器(一七%〇)、管笠(一二%九)、 次に輸出入品であるが、 輸出品 であるが、 輸出入品を整理合算してみると第三七表の 石川縣においては輸出 一港の輸 「明治十三年石川縣統計表」によつて前記 出入額は第三六表の如くである。 品の多くが再輸出 砂糖 (五%七), 如くで 紙

魚 純 0)

加

身

元

明治13年石川縣輸出入品表 (第37表)

胡	名	輸	出	輸	入	差	引
	米	28,566	221,077	66,165	485 <b>,</b> 390	- 37,599	-264,31
小	麥	305	1,708	2,558	13,600	- 2,253	- 11,892
大	豆	241	1,520	6,018	50,067	- 5,777	- 48,54
	鹽	43,164	83,699	50,380	77,808	- 7,216	+ 5,89
砂	糖	211年2,230斤	3,643	9,015	76,786	?	-73,143
清	酒	2,6046	93,660	362	7,510	+ 2,242	+ 26,150
干	魚	9,873	22,752	5,348	13,874	+ 4,525	+ 8,878
鹽	魚	?	45,954	?	9,188	?	+ 36,766
生	魚	3,818	45,003		*****	+ 3,818	+ 45,003
吳	服	36	700	1,086	57,140	- 1,050	- 56,440
古	着	_		629	16,687	- 629	- 16,687
	繒	1,007	9,402	7,842	67,738		- 58,336
藍	玉	何 42	382	1,416	14,053	— 1,374	- 13,671
胴	鰊	162,156	33,466	25,519	179,303	?	-145,837
链	目鰊	226,000	29,220	9,388	44,231	?	- 15,011
鰊	粕		, –	10,977	33,899	— 10,977	- 33,899
身	欠 鰊	69,683	14,257	4,934	5 <b>3</b> ,597	?	- 39,340
合	藥	921	32,215			+ 921	+ 32,215
	莚	916,000	21,850			+916,000	+ 21,850
管	笠	3,300	34,280			+ 3,300	+ 34,280
材	木	10,739	14,246	73,941	126,851	-63,202	-112,605
漆	器	3,443	45,489	52	337	+ 3,391	+ 45,152
隃	器	450	1,875	9,323	18,082	- 8,883	- 16,207
荒	华匆	1,039	1,894	44,571	55,947	- 43,532	- 54,053
小	間物	31	1,550	2,517	16,637	- 2,486	- 15,087
	紙	89	31,920	277	99,720	- 188	- 67,800
	蠟	权 40	410	3,768	64,244	- 3,728	- 63,834
	鐵	東 53	1,081	4,993	30,832	- 4,940	- 29,751
石	灰	393	62	413,738	52,739	-413,345	- 52,677
石	油	980	1,626	10,655	28,282	- 9,735	- 26,656
	炭	148,559	13,997	27 <b>,</b> 866	4,878	+120,963	+ 9,119
其	他		89,614		146,530		- 56,916
合	āł l	i i	838,552	<u> </u>	1,845,950		-1,272,702 + 265,304

備考 「明治十三年石川縣統計表」111-133頁により作成す。

口

明治11年福井縣港別輸出入表(第38表)

港	名	輸	出	額	輸	入	額	
坂井(	三國)	335,8	<sub>9</sub> 40(33	4,340)	343,7	719( <b>3</b> 4	2,21	PH 9)
敦	賀	41,9	92 (4	0,848)	282,9	947(28	1,80	3)
小	濱	165,1	23 (9	8,043)	265,7	<b>′5</b> 8(20	0,24	6)
合	計	542,9	55(47	3,231)	892,4	124(82	4,26	8)

備考 カツコ内の數字は再輸出額を控除したもの である。

[二府四縣采覽報文] 31-34頁, 241-246 頁,264-269頁により作成す。

### 明治15年福井縣港別輸出入表(第39表)

港名	輸出額	輸入額
坂井港	1,073,165	814,200
敦 賀 港	82,882	176,584
小濱港	139,678	159,379
合 計	1,295,725	1,150,163

備考 [明治十五年福井縣統計書]66丁による。

るものとして取扱うことにした。 井縣 一府四縣釆覽報文」には福井縣 (越前 若狹) は明治十 五 年から獨立しそれ (越前 若狹) としては坂井 以 前 は石 Ш 縣 (今日の三國 に屬し T が 敦賀 こん 小 では 濱 便宜上最初 港 0) 明 治 + か 6 獨立 年 度 0

福 福

井

縣

額が掲載されておる。

まずそれを示すと第三八表のごとくである。

港 また、 0) 輸出 二人が 明 治十 第三九表の ごとく 記載 五. 年福井縣統計 され は T 右

でお ると、 覽報文」によつて明治十一年小濱港の場合をみ が輸出入されていたのであつて、 であるの 年 入高と考え、 の輸出入品を示すと第四〇表 る。 輸 出品四 Ć 右三港 その まず「釆覧報文」により は福井縣 + 合計額 六 種 を以 における 輸入品四 やは てか 主要 たとえば り各 0 ŋ 十三種に及ん E 如 輸出 種 百 < 明治 縣 0) で 入港 商 0 一釆 あ 輸

る。

る。

輸

出入品についてみると、

明治11年福井縣輸出入品表 (第40表)

	輸		出	輸		入
	*	32,428石	[到 135,262	胴 鰊	728,836實	圆 133,278
*	種	12,860石	77,520	身欠鰊	37,067束 l 19,246把 J	79,369
菜	仁里	12,00041	11,520	鳔 白 子	31,640貫) 14,068本 [	55,323
種	油	2,198石	54,778	鰊 / 粕	132,640貫) 1,334本∫	6,600
桐	油	803石	18,166	笹目鰊	3,229本 1,660賞 /	9,487
	莚	155,408束 (100枚入)	32,472	鹽鱒	15,290本) 12,000貫/	93,330
蠟	燭	11,082	16,932	敷ノ子	2,338本) 6,500貫)	13,222
石	灰	196,394俵	14,177	昆 布	37,600質 7,366駄 4,973把 33,146丸	15,803
其	他		123,924			396,925
		-		砂糖	700,100Fr	68,330
					411,760俵 (1斗6升入)	56,445
				鐵	13,850 京 (12貫入)	46,795
				銚	1,490京 (13貫530匁入)	2,349
				鋼	850箱 (13貫500匁入)	3,400
						52,544
AND				生 蠟	2,886以) 2,800斤)	35,845
				楮 子 皮	508,400貫	15,154
			-	其 他	The state of the s	199,025
合	計		473,231	合 計		824,268

明治15年福井縣輸出入品表 (第41表)

品名	輸	出	輸	入	差	<b>5</b> 1
* 菜 種 種 油 莚	100,829石 20,109石 8,410樽 185,781束	171,152 54,982	9,120石 581石 —	62,300 4,721 —		+ 166,431 + 54,982
蠟 燭 茶 生 糸 類	4,785箱 3 <sub>0</sub> 0,000斤 200梱 25,000箱	37,272 75,000 73,000 50,000		11,002	+ 4,785箱 +300,000斤 + 200框 ?	+ 75,000
胴 鰊 身欠鰊 鰊白子	22,530貫 2,220本 23,000貫	6,800 6,600	592,986束 29,256貫 24,310本 12,035本 33,792貫 520本	93,115	592,686束 5,756貫 22,090本 12,035本 10,792貫 520本	$\begin{cases} -186,251 \\ -86,315 \\ -64,480 \end{cases}$
鰊 粕 数ノ子	3,200貫 5,000貫	576 1,200	5,160貫 1,042束 9,900貫	9,853	<ul><li>1,960貫</li><li>1,042束</li><li>4,900貫</li></ul>	$\left. \begin{array}{ccc} - & 2,690 \\ - & 2,653 \end{array} \right.$
昆 布	10,180賞	1,214	2,000石 1,205駄 7,350把 19,370貫	12,954	<ul><li>2,000石</li><li>1,205駄</li><li>7,350束</li><li>9,190貫</li></ul>	- 11,740
		20,215		380,344		- 360,129
砂糖	4,500挺	64,000 —	14,880挺 455,866俵	186,400 100,420	— 10,300挺 —455,866俵	- 122,400 - 100,420
鐵 鋼 銑	257束	1,263	6,504束 2,000箱 2,700個	29,212 12,000 6,143	<ul><li>6,247東</li><li>2,000箱</li><li>2,700個</li></ul>	- 12,000
		1,263		47,355		- 46,092
撥 精子皮 綿	— — 848本	10,999	5,097队 30,000束 13,433貫 6,417本	91,401 51,101 67,720	<ul><li>5,097队</li><li>30,000束</li><li>13,433貨</li><li>5,569本</li></ul>	
太 物 吳 服 西洋反物	_		46,093反 2,053反 931反	22,789 7,913 5,600	<ul><li>46,093反</li><li>2,053反</li><li>931反</li></ul>	- 22,789 - 7,913 - 5,600
	-		Ì	36,302	,	- 36,202
石 油 其 他		5,316	9,820凾	40,562 70,506	9,820凾	- 40,562 - 65,190
合 計		1,295,725		1,150,163	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+1,115,879 - 970,317

備考 「明治十五年福井縣統計書」66-67丁により作成す。

(七%)、 右表によれば最大の輸出品は米で、全純輸出額の二九%弱を占める。 桐油(三%八)、蠟燭(三%六)、石灰(三%)等であつた。 輸入品においては、 これに茶種(一六%)、 鰊製品、 種油 鹽館 () = 1%), 敷ノ子、

一%)、身欠鰊(九%六)、鰊白子(六%七)等が主要なものであつた。これにつぐのは砂糖(八%)、鹽(六%八)、

昆布等の北海道水産物が最大のもので、その輸入額は全體の四八%を占めておる。

中でも胴鰊(一六%)、

鹽鱒(一

鐵類(六%三)、生蠟(四%三)等であつた。

要輸出入品は「釆覽報文」による明治十一年の場合と大差なかつたことが知られる。 次に「明治十五年福井縣統計書」により右三港の輸出入品を整理合算すると第四一表の如くで、これによつても主 たど、 十五年になると、

出入されておる。 た主要輸出入品の外に輸出にあつては茶・生糸・魚類などが、輸入においては綿・吳服類・石油などが相當多量に輸 最後に米の輸出高が生産高に對しどの程度の割合を占めていたかを明治十五年についてみると次の如くである。

四四八、〇三一石 〇〇、八二九石 三

出 高

百分比

「明治十五年福井縣統計書」一一九、丁六六丁による。

備考

生

高

### 鳥 取 縣

 $\equiv$ 

Щ

陰

品

鳥取縣は明治 十五年より縣として獨立し、それ以前は島根縣に屬していたが、便宜上ここでは獨立の縣として取扱

U

が 譯は第四二表のごとくである。 ・は 額の四二%を占める。 出額二十八萬六千圓余、 輸出 六八一、〇六〇圓、 ているので、それを控除すると 出額 二三八、五〇〇圓が含まれ 圓であるが、これには米の それによると輸出額 取縣としては明治十一年境港の 輸出入額のみが示されておる。 主要 木綿 六、九七九圓となる。 は米(三〇%)を筆頭に、石 最大の輸出品は鐵類でその輸 「二府四縣釆覽報文」には なものであつた。 (二九%)、 輸入額四五五、四七九 綿二八%) 九一九、五 その外で 輸入品 全輸出 その内 輸入二 再 鳥

### 明治11年鳥取縣境港輸出入表(第42表)

輸		出。		輸		入
鐵	32,000駄(1駄=24貫)	208, <sub>0</sub> 00	石	长油	14,000石 15,000箱	63,000 51,000
銑	12,000駄 (1駄=24買)	36,000	水	油	8,000椋	40,000
鋼	7,100駄 (1駄=24貫)	42,060	干	鮙	50,000俵	20,000
	(.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		大	豆	3,690石	14,821
		286,060	£	列	2,500個	10,000
deste	30,000本	105 000	15	Ž.	50,750俵	5,836
綿	(1本=6買)	195,000	小	麥	2,300石	9,200
木棉	500,000反	200,000	小	豆豆	670石	3,122
合 計		631,061				216,979

備考 「二府四縣采覽報文」298—299頁により作成す。 本表は純輸出入額である。

### 明治16年鳥坂縣輸出入表 (第43表)

港	名 輸	r11	額	輸	入	額
*	子	31	3,356		130	,669
境	a control of the cont	24	8,955		88	,977
其他三ケ	所	4	1,972		12	,331
合	āt	60	4,233		231	,977

備考 「第四回統計年鑑 | 263頁による。

油 三三%、 水油

が、 ておるので、参考までにそれを表示すると第四三表のごとくで あ 鳥取縣統計書」及び「島根縣統計書」にはこの種の調査を欠く 第四統計年鑑」には明治十六年の鳥取縣の輸出入額が示され (一九%)等が 主要輸入品であつた。

### 根

る。

この種の調査を欠いておる。たゞ「第二統計年鑑」には島根縣の輸 する港の輸出入については全然記載がない。 「二府四縣釆覽報文」には今の島根縣 (出雲・石見・隱岐) に屬 また島根縣統計書にも

出入として第四四表の如く記されておる。

これには後に鳥取縣に所屬する港もふくまれておるが、 (本研究は昭和二十六年度文部省科學研究費による研究の一部である) 島根縣輸出入の大略を知ることができよう。 それにし

明治13年島根縣輸出入表(第44表)

9141	1 100 (120)	来) X 八口無罪	, 1 . 15 )		
港	· 名	輸出額	主要輸出品	輸入額	主要輸入品
濱	囲	86,831	鐵,苧	105,548	鹽, 砂糖
ij	莲	553,592	米,木綿,銅	157,825	大豆,鰊,鰊粕
松	江	29,420	古着,鹽	348,426	洋織物,吳服 藥種,砂糖
米	子	156,299		48,316	-
安	來	246,298		14,987	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
鄕	田.	113,736	managed and a second	6,750	
共他二	十ヶ所	306,867		236,049	- manuscript
合	it	1,493,043		3,244,645	

「第二統計年鑑」202-203頁による。